

川のことをよく知り、 川を楽しもう

かわ たの おもしろ
川は楽しい、面白い。

かわ せいかつ きばん
川は生活の基盤
になっている。

かわ めく はだ
川の恵みとリスクを肌
かん
で感じたい。



かわあそ ごかじょう 川遊びの五箇条

一．川は私たちが生き物の源。魚・虫・鳥などの動物や、植物のことをたくさん感じよう。

二．川へは一人で行かない。仲間どうし、お互いに注意しあって楽しく遊ぼう。

三．川には魅力もあるが怖いところもある。自分でよく考え、自分のことは自分で守ろう。

四．川は常に変化している。遊ぶ前に下見し、遊んでいるときは天気や流れを確認しよう。

五．川へ入るときはライフジャケットをきちんと着けよう。



注目

川は時として怖い場所になることもあります。

川はとても楽しく、面白いところですが、上流や近くで雨が降ったりすると、川の水が急に増えて流されてしまうなど、時として怖い場所になることもあります。



兵庫県都賀川では、周辺に降った大雨で川の水が急に増え、子ども3人、おとな2人が流されて死亡しました。

1 準備をして、川へ出かけましょう

- ・ 177などで天気予報を確認しましょう
- ・ 服装や履物をチェックしましょう
- ・ 持ち物をチェックしましょう
- ・ だれと一しょに行くか、必ず伝えましょう
- ・ なぜをひいていませんか、ケガしていませんか、何となく行きたくない感じはありませんか



- 水に入るときの服装
- ・ ライフジャケット
 - ・ ぬれても良い服装
(乾きやすいナイロン製のものなど)
 - ・ 靴: 脱げなくて、ぬれてもいい運動靴
(ウォーターシューズ、リバーシューズなど)
 - ・ ビーチサンダルは脱げて危険なので使用しないこと など

2 川に着いたら

- ・ 上流や下流の様子を確認し、危険な場所を探してお互い注意しましょう
- ・ 流れのはげしい所や深そうな所など、川岸や川床の様子なども注意しましょう
- ・ 服装をお互いに確認しましょう
- ・ 雨のあとなど、増水しているときは川に入らないようにしましょう
- ・ 看板や逃げ道を確認しましょう



3 こんなときはすぐに川から出ましょう

- ・ 空が急に暗くなったり、雷が鳴ったらすぐに川から逃げましょう
- ・ 橋の下で雨宿りせず川からあがりましょう
- ・ 自分で判断し、自分の身は自分で守りましょう
- ・ 危険を感じたら、周りにも声をかけましょう

- 川原や水辺で活動するときの服装
- ・ 帽子をかぶる
 - ・ 軍手をする
 - ・ 動きやすい服装
 - ・ ぬれてもいい歩きやすい靴など